

# まいまい通信 特別版

(相模原市議会議員 森しげゆき 活動レポート)

平成30年7月発行

## 6月定例会議一般質問等の活動を報告

事務所  
相模原市中央区上溝3841-11  
発行責任者 岩崎 貴志  
Tel. 042-770-5241

去る5月30日～6月29日に、相模原市議会6月定例会議が開催され、森しげゆき相模原市議会議員は、今回も一般質問に立ち、高齢者福祉政策（認知症総合対策）や、スポーツ環境の充実などについて市長の見解を質しました（2～3面に質問内容の一部を掲載）。その他、最近の相模原市の動向についても今回の議会レポートでご報告いたします。



早朝駅頭での議会報告でも多くの皆さんからご意見をいただき励みになります。

引き続き皆さんの声の代弁者として発言します。

本年5月21日に開催された、相模原市議会5月臨時会議において、森しげゆき議員は、相模原市議会水源地域対策特別委員会委員長に就任しました。市域の約三分の一を山林が占める相模原市は、神奈川県の水がめとして、水源地域の環境保全や森林の涵養は重要な課題です。また、地元産の木材を積極的に活用することで、市の経済対策に繋がります。そのためには、林道や作業道の整備はもちろんのこと、木材の流通環境の改善もはなからありません。こうした様々な課題を持つ水源地域対策特別委員会ですが、今回二度目の委員長となる森しげゆき議員に期待が寄せられています。

## 森しげゆき議員 水源地域対策特別委員会委員長に就任

【水源地域の保全・地元産木材の活用等、二度目の委員長に期待】



## 相模原 ギオン スタジアム 照明設備完成！

森しげゆき議員は永年スポーツ環境の充実について提言しています。昨年の横山公園競技場人工芝グラウンドオープンに続き、相模原ギオンスタジアムの照明設備がようやく完成し、本年4月から運用が開始されています。トップスポーツを観戦する市民の皆さんにとっても、夜間の涼しい観戦ができることとなります。



JR番田駅 駅舎建替え完了  
この度、永年の懸案であったJR番田駅の駅舎建て替えが終わりました。森しげゆき相模原市議会議員は、市議会では、市議会で相模原線の利便性向上を訴える中で、JR番田駅の駅舎改修、トイレの改修、エレベーターの設置、駐輪場や駅前広場整備を求めると同時に、相模線の終電時間の延長を実現してきました。多くは実現しましたが引き続き残りの課題に取り組みまいります。

【平成30年度相模原市議会

6月定例会議 森しげゆき】

## 一般質問報告

○認知症になっても

暮らしやすい街を求めて

・認知症サポーターの

さらなる拡大について

厚生労働省の推計によると、2025年には認知症高齢者の数は約700万人にのぼり、高齢者の5人に1人は認知症になるといわれている。社会全体で認知症の人とその家族を支えるために、認知症サポーターは大事な存在である。認知症サポーターの拡大に向けた取り組みについて見解を求め、企業や学校等への働きかけをしながら、様々な場所で養成講座を開催し、サポーターの養成に努めています。引き続き、関係団体等との連携を深め、取り組みを進めていくとのことだ。



議員になって24回目の一般質問を行いました。市民の皆様の声を中心に毎回テーマを絞って、市長の見解を質しています。

・認知症サポーター養成講座を学校の

カリキュラムに盛り込むことについて

相模原市では既にいくつかの小学校、中学校で、認知症サポーター養成講座が実施されている。私もキャラバンメイトとして学校に出向いて講座を開いているが、市内の小中学校ではまだ一部の取組みであり、教育委員会から学校カリキュラムに認知症サポーター養成講座を奨励すべきと提言し、これまで行った学校の良い事例を全校に積極的に情報提供することとした。

・高齢者110番の家の設置について

認知症患者は外出した場合は、帰宅できない場合がある。また、介護者や支援者が帯同している場合も、体調が悪くなったり、ちょっとしたお手伝いが必要とする場面がでてくることがあることから、街のあちこちに『高齢者110番の家』のステッカーを貼った家や、コンビニがあったら助かる。認知症サポーターとなつての方や高齢者支援センター、コンビニなど『こども110番の家』のような活動が、全市統一的にできれば、高齢者が安心して住める街の一助となると提言した。既に、先駆的に取り組んでいる地区があり、地域ケア会議などにおいて、こうした好事例を積極的に紹介するとともに、各地区の見守り・支援体制の取組が市全体に広がるよう努めていくとのことでした。

・条例の制定について

愛知県大府市では、平成29年12月に『大府市認知症に対する不安のないまちづくり推進条例』が、神戸市では平成30年3月に『神戸市認知症の人にやさしいまちづくり条例』が制定、運用されている。相模原市でも条例を制定し、市民ぐるみで認知症の方が安心して暮らせるまちづくりへの舵取りをすべく求め、その必要性や効果などの研究をしていくとのこと。

・若年性認知症患者・家族の支援について

市内には推計で200名の若年性認知症患者がいると伺っているが、大半は自分たちで悩んでいると考える。神奈川県では、若年性認知症支援コーディネーターを県内に3箇所配置しているが、その場所は横浜、小田原市、横須賀市で、相模原市からは遠い現状だ。相模原市独自に支援コーディネーターを配置することを含め、若年性認知症患者やその家族、支援者に対する支援について求め、コーディネーターについては、政令指定都市が配置した場合においても、国からの補助の対象となったことから、認知症施策を進めていく中で検討するとのこと。

・若年性認知症患者の居場所づくりと  
就労支援について



若年性認知症患者の受け入れについて、現状では高齢者用のデイサービスに通所しているケースが多く、ご本人の抵抗が強いが日常の居場所が必要。また若年性認知症の方は、職種によっては就労が可能な場合もあるが、実際の就労には苦慮している現状だ。若年性認知症の方を対象としたデイサービスの設置を含め、居場所の取り組みについて、労務支援について市の方策を伺い、市は居場所等の情報提供の他、企業等に対する認知症の特性などの普及啓発に取り組みしていくとのことだ。

## ○スポーツを通じた

### 街の活性化について

#### ・球技専用スタジアムの整備について

ギオンスタジアムは、サッカーJ2リーグ以上の基準を満たしておらず、このままでは男子サッカーは昇格できない。アメフトも球技専用スタジアムでの開催が望まれていない。ラグビーのトップリーグも新しい基準ではホームスタジアムが必要との条件がつくことが検討されている。相模原のホームタウンチーム4チーム全てが、ホームスタジアムが必要となることや、陸上競技等の競技が使用したいときに使えないことから、現状のギオンスタジアムが飽和状態となる。以前から提案しているが、新たに球技専用スタジアムを整備することが不可欠である。同施設に会議室やコンサートなどのイベントができる機能を備えることにより、多くのイベントを誘致でき、地域経済に大きな効果をもたらすと考え見解を求めた。市長は、各チームが一層飛躍するために、競技環境の更なる充実が必要と認識している。球技専用スタジアムは、トップレベルの競技をより近い距離で観戦することが可能であるため、「観る」、「支える」スポーツの振興にも寄与するものと考え。国は、民間主導による収益性の高い多機能・複合型スタジアムを核としたまちづくりの取り組みを進めているので、有識者や関係機関との意見交換や情報収集を行いながら、様々な角度から検討していくとのことだ。

#### ・再質問

スタジアムについては、場所も重要だ。相模原駅北側米軍基地相模総合補給廠一部返還に伴うまちづくりのなかで、広域交流拠点機能として具体的にスタジアムを含めた検討について求め

る。国は、民間主導による収益性の高い多機能・複合型スタジアムを核としたまちづくりを進めている。駅近接の立地条件から、有名なアーチストのコンサートや、多くのイベントの引き合いは間違いなく、PFI方式などで民間活力も利用しながら、市民の要望に的確に答えていくことが求められる。

#### ・東京2020オリンピック

##### パラリンピック競技大会について

東京2020オリンピックの自転車ロードレース競技が、相模原市内を通るルートでコース設定される見込みである。相模原市民が地元にながら、オリンピックに触れられる絶好のチャンスだ。市民に対して事前の周知を行い、大会機運の醸成を図っていくことが必要である。観戦ツアーの開催など、ロードレース競技当日を盛り上げるための工夫が必要だ。また、ブラジルの水泳、女子バレーチームが、今年の世界大会に合わせた市内でテストキャンプを行うとのこと。その際も市民が身近に触れ合えるよう調整していただきたいと求めました。(一般質問は一部抜粋です)



昨年視察した、北九州市のミニワールドスタジアム。民間主導で整備され、スポーツだけでなく、スタジアム内の会議室やイベントにも広く使用されています。こうした先進事例をもとに、相模原の球技スタジアムの課題解決に向けて努力していきます。

## 森しげゆき議員は

### こんなことをやっています！

「安全安心青色パトカーでの巡回」  
森しげゆき市議会議員は、12年前から、仲間とともに安全・安心青色パトカーに乗り、犯罪の未然防止活動を行っています。毎年、神奈川県警の講習を受け、『青パト』の運転資格の更新を行い、昨今の市内の犯罪状況や発生地区を把握する中で、広報活動をしています。この活動は、あくまでも犯罪抑止の活動ですが、市民の皆さんが安心して暮らせるよう、これからも地道に続けてまいります。最近では、振り込め詐欺や空き巣、自転車の盗難などが多くなっています。お気を付けてください。



青パトの運転をする森議員。交通ルールを遵守しながらの運転は身が引き締まります。

# 共生社会の実現に向けて

## 【発達障がいの方のサポートカードを実現】

森しげゆき議員が政策の大きな柱に掲げるのが「誰もが安心して暮らせる真の共生社会の実現」です。

その一貫として、昨年度の市議会の一貫質問で、『発達障がいのある方をサポートするための方策として、サポートカードを作成して発達障がいの方が携帯し、それを見た市民がサポートすることで気兼ねなく外に出られる機会を増やすべきだ』と訴え、この度実現しました。例えば「大きな音が苦手」「電車やバスのダイヤが乱れると乗れない」「病院で待ち時間が長いとじっとしていられない」など、本人の特徴を書いたカードを携帯し、それを見た市民が書いてある対処法でサポートするものです。サポートしなくてもその人の特徴を理解してもらいだけで効果はあると考えます。



今、社会全体で、マタニティマーク（妊婦さん）やヘルプマークなど、例えば電車内などで、皆さんのお手伝いを必要とする方がたくさんいらっしゃいます。まずは、こうした取り組みを理解していただくことが必要です。

## 【森しげゆきプロフィール】 無所属です

- 1966年 9月 秋田県男鹿市生まれ 51歳
- 1985年 4月 NEC入社
- 2002年 12月 連合神奈川・相模原地域連合事務局長

【相模原・津久井地域合併協議会委員、相模原市廃棄物減量等推進審議会委員、相模原市公共交通推進協議会委員、新宿小学校PTA会長、相模原市青少年指導員 等を歴任】

- 2007年 4月 相模原市議会議員初当選
  - 2011年 4月 相模原市議会議員2期目当選
  - 2015年 4月 相模原市議会議員3期目当選
- 趣味 ラグビー、サッカー  
特技 書道（現在も指導中）  
住まい 相模原市中央区上溝在住

## 【上溝さくら公園にお出かけを】

旧食肉公社の跡地利用の方策で、上溝の皆さんから要望の強かった『みんなが憩える公園』について、森しげゆき議員が粘り強く発言し、上溝さくら公園が実現しました。その後、地元の皆さんの手で多くの種類の桜が植えられていて四季を通し楽しめますのでお出かけください。



## 【市議会活動・これまで】

環境経済常任委員会委員長、文教常任委員会委員長、民生常任委員会委員長、農業委員等を歴任

## 【市議会活動・現職】

環境経済常任委員会、水源地域対策特別委員会委員長  
相模原スポーツを応援する議員連盟事務局長  
小田急多摩線延伸を促進する議員連盟監事

## 【会派・役職】 市民民主クラブ 総務会長

## 【その他・現職】

NPO法人相模原市ラグビーフットボール協会顧問  
下九沢地域振興会、石橋地区伝承芸能保存会  
相模原秋田県人会、認知症キャラバンメイト  
薬物乱用防止教育認定講師、なまはげ伝道師



趣味のラグビーは今も続けています。